

M&Oplays プロデュース 2014年11月公演

作・演出 岩松了

水の戯れ

光石 研
菊池亜希子
近藤公園
瑛 蓮
根本宗子
岩松 了
池田成志

11月 東京：本多劇場 /大阪・名古屋・神奈川公演あり

1998年に書き下ろされた「水の戯れ」待望の再演決定！

この公演の先行予約情報(東京・大阪・神奈川)希望の方は 6/30(月)までに mizu@morisk.com

まで、お名前・御住所・お電話番号をお知らせください。先行予約情報は郵送にてご案内致します。

お問い合わせ：M&Oplays 03-6427-9486 (平日11時～18時)

仕立屋を営む男—亡き弟の妻だった女に想いを寄せている。
お互いに心に秘めた想いを抱きつつも、距離の縮まらぬ二人—。
そんな二人の元にふらりと現れた男の兄。
「ゆれる」三人の関係が始まる—。



撮影：三浦憲治

〈作者からのコメント〉

16年ぶりの再演です。キャストも一新しました。

の戯曲は、チャーホフの『ワーニャ伯父さん』のワーニャとエレナが結婚したら—という仮定のもと
自分なりの《メロドラマ》を書こうと思って書いたものです。

‘すれちがう思い’がもたらす夫婦間のありふれた状況がありふれてない結末を迎える、
というドラマです。自分なりの‘事件’を用意したのです。

常々、スコアレスでつづくサッカーの攻防にこそ豊かなドラマがあると言っている私ですが、
ロスタイムに1点入れてみた、というところでしょうか。

その水面下に潜んでいたものが、遂に表に出る、という流れは、‘事件を起こしてみる’という
自分なりの実験であったと思います。

今も、おそらくこれからも、人の世のわからなさに挑もうとする演劇なればこそ、ありふれた状況が
果たしてホントにありふれているのかを凝視せざるをえない。

そのことを16年ぶりに確認したい、と思うのです。

M&Oplaysプロデュース 「水の戯れ」

作・演出：岩松了

出演：光石研、菊池亜希子、近藤公園、瑛蓮、根本宗子、岩松了、池田成志

東京公演：2014年11月1日（金）～16日（日）・本多劇場

大阪公演：2014年11月22日（土）・シアタードラマシティ

名古屋公演：2014年11月24日（月祝）・名鉄ホール

神奈川公演：2014年11月29日（土）30日（日）・KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ